

## ＜グローバル人材育成教育学会第5回全国大会シンポジウムⅠ,Ⅱ趣旨＞

(9月9日(土)分のみ)

### シンポジウムⅠ

13:15 - 15:55

「海外とのミッション遂行に求められるもの」(※途中休憩 10 分あり)

モデレーター:

中山 健一郎(札幌大学 教授)

シンポジスト:

小林 浩治(北海道大学新渡戸カレッジ フェロー、元トヨタトルコ 社長)

野部 英一(元札幌大学 非常勤講師、元ホンダ アメリカ チーフエンジニア)

白木 三秀(早稲田大学大学院 教授、国際ビジネス研究学会 会長)

海外勤務を命ぜられた者が、その使命を十分に果たせず帰国の途につく者も少なくないと聞く。グローバル人材として海外とのミッション遂行に求められるものは、どのようなスキルでありマインドなのかを、実際に海外で任務にあたったシンポジストの方々の知見や経験をもとに考えたい。さらに国際ビジネスの研究者によるリサーチと研究成果をもとに、グローバル人材の条件について議論したい。

### シンポジウムⅡ

16:10 - 17:30

「観光立国日本をグローバル人材育成の観点からどう支えるか～北海道の観光を例として～」

モデレーター:

竹内 典彦(北海道情報大学 教授)

シンポジスト:

張 相律 (チョウ ソウリツ)(株式会社 プレミアム北海道 代表取締役)

鄭 眞旭(ジョン ジンウク)(株式会社 四季の旅 代表取締役)

川名 典人(札幌国際大学 教授)

佐野 愛子(北海道文教大学 准教授)

2016 年は外国人観光客が 2 千万人を突破した。北海道への外国人観光客も、アジア諸国を中心に大きくその数を伸ばしている。本シンポジウムでは、道内観光に携わる北海道の企業の方々と、道内の大学教員の意欲的な試みを聴き、観光立国日本についてグローバル人材育成の観点から議論を深めたいと考えている。